紅茶検定回答と解説　中学生版

問題１　答えは　③

【解説】昭和 45 年に東春日井郡旭町が市制（しせい）を施行（しこう）し、愛知県下 27 番目の市として尾張旭市が発足しました。令和２年には市制施行 50 周年を迎え、令和４年３月末にかけて、「ともにつなごうあさひの歩み・いま・未来」をテーマに、全市を挙げて 50 周年記念事業を実施しました。

問題２　答えは　②

【解説】あさぴーは、尾張旭市の 35 周年を記念に、尾張旭市を広くピーアールするために誕生。市民のみなさんから応募してもらったデザイン 761 点のなかから、市民投票で決まりました。また、「尾張旭市がハッピー」という意味を連想させる「あさぴー」という名前も、市民の方につけてもらいました。あさぴーも、みんなといっしょで、紅茶が大好きなんですよ。

問題３　答えは　①

【解説】日本紅茶協会が認定した「おいしい紅茶の店」が尾張旭市には 13 店舗あり、人口１人あたりの店舗数が日本一多いまち（市）となっています（令和４年 11 月現在）。名古屋市と大阪市が並んで 15 店舗となっていますが、人口 200 万人を超える名古屋市、大阪市に対して、尾張旭市の人口は８万４千人弱。人口比率でみると、尾張旭市の認定店の数がダントツに多いことがよく分かります。ちなみに３位が京都市と東京・千代田区の 10 店舗、５位が神奈川・横浜市と広島市の７店舗となっています。

問題４　答えは　②

【解説】条件には、「５種類以上の紅茶メニューを提供していること」と定められています。このほかにも、味について管理が行われていること、１年以上の提供経験があること、紅茶の説明ができるスタッフがいること、などが条件となっています。また、これらに加えてお店の雰囲気やスタッフの対応なども、ふくめん審査員によってチェックされ、はじめて認定されます。また、認定されてからも定期的に再審査されて、味が落ちていると認定が取り消されることもあり、このような厳しい審査を乗り越えたお店が認定店となっています。

問題５　答えは　①

【解説】TEAS　Liyn-an です。このコンテストは、全国に 224 店（当時）ある「日本紅茶

協会認定おいしい紅茶の店」をより一層、広く一般に認知するため、紅茶業界のさらなる活性を図ることを目的に開催されました。応募のあった「おいしい紅茶の店」の中から書類審査を経て、当日は 4 店が出場。準決勝はディンブラを用いたアレンジティー、決勝ではダージリンファーストフラッシュをおいしくいれ、その腕を競いました。2020 年、2021 年はコロナのため中止されています。写真は、アレンジティー部門に出品した、TEAS Liyn-an の作品「ポーラ・イン・ザ・ベール」。

問題６　答えは　③

【解説】2011 年の「おいしい紅茶の店」日本一を受けて、その翌年から「紅茶フェスティバルin尾張旭」を開催。全国の紅茶産地から生産者さんたちが集まり、商品を展示販売する「紅茶バザール」をはじめ、「紅茶セミナー」や世界の紅茶の提供、ステージイベントなどを行い、市内外から紅茶ファンが訪れています。また、2015 年からは「国産紅茶グランプリ」を開始。それまで全国的な審査会がなかった国産紅茶の世界に、人気投票による審査という概念(がいねん)を持ち込み、国産紅茶の品質向上に大きな役割を果たしています。

問題７　答えは　①

【解説】城山公園のすぐ北側には、城山小学校があります。城山小学校の運動場は、城山公園で開かれるさくらまつりや、夏まつりなどの駐車場に利用されることがあります。

問題８　答えは　③

【解説】尾張旭市には「あさぴー号」というコミュニティーバスが走っています。１回 100 円で乗れる市民の足ですが、尾張旭市内のおいしい紅茶の店をまわるのにもピッタリのバスですので、電車で尾張旭にきた人は、ぜひともあさぴー号で尾張旭市のおいしい紅茶の店をめぐってみてはいかがでしょうか。

問題９　答えは　①

【解説】旭色とは、消費喚起(しょうひかんき)と交流人口の増加を図るため、尾張旭市が令和２年度からはじめた取り組みです。尾張旭市は「おいしい紅茶日本一のまち」であることから、紅茶に合う新商品・メニューの開発を行い、また、特産品の「イチジク」を使用することで、尾張旭市ならではの魅力を「旭色」として発信しています。ケーキやパンにランチメニュー、そしてディナーにも、尾張旭でしか出会えないグルメの数々が用意されています。お店ご

との「旭色」グルメを楽しんでください。

問題 10　答えは　②

【解説】プチヴェールは1990年に静岡県の農場で、ケールと芽キャベツをかけあわせて作られた野菜です。プチヴェールとはフランス語で「小さな緑」という意味で、緑のバラのようなかわいい実がつきます。尾張旭市では、平成16年度から出荷を開始。現在では、JAあいち尾東の特産品としてエリア内の近隣市町でも栽培されています。出荷時期は 1 月上旬から 2 月下旬頃で、JA あいち尾東の市内直売所（グリーンセンター、産直センター）等で買うことができます。プチヴェールの親であるケールは、青汁の原料として使われている栄養価の高い野菜ですが、プチヴェールはケール以上の栄養価があります。免疫力を高め、美肌効果があるビタミン C、老化を防止し、動脈硬化を予防するカロテン、疲労を回復し、成長を促進する鉄分を多く含んでいます。

問題 11　答えは　②

【解説】展望室は９階にあり、高さは 55m（標高約 131m）です。展望室からは、市内一帯を眺望できるだけでなく、天気の良い日には名古屋駅や御嶽山などが眺められます。夜９時すぎまで入場できるので、夜景を見にくる観光客でも賑わいます。スカイワードあさひは、市のほぼ中央に位置するサクラの名所「城山公園」内にあり、毎年３月下旬から４月初旬にはさくらまつりが開かれています。

問題 12　答えは　②

【解説】尾張旭市の木「クスノキ」は、昭和45年、市制施行を記念して制定されました。市の象徴にふさわしい郷土の木を、ということで「クロマツ」、「かしの木」、「まきの木」、「サザンカ」、「クスノキ」の５つの候補の中から市民による公募の結果、最も応募数の多かった「クスノキ」に決まりました。

問題 13　答えは　③

【解説】瀬戸街道には、城前町に「砂川（すがわ）」という交差点があります。以前は、この交差点の北東に「砂川」という地名もありました。砂川という地名の由来は、よくわかっていませんが、「昔、この川を通りかかった僧が、洗濯をしていたおばあさんに水を求めたところ、おばあさんがこれをことわった。そのため、僧は、呪文を唱え美しい水の流れを、砂の流れに変えてしまった。」という伝説が残っています。

問題 14　答えは　③

【解説】尾張旭市の「棒の手」が、昭和 33 年に県の無形文化財に指定されました。棒の手は、棒や木太刀を使う武術的な民俗芸能で、2 人から 5 人の演技者が型に従って演技を行います。五穀豊穣などを願う神事芸能として、また農民の自衛手段として受け継がれてきました。棒の手は、愛知県や岐阜県などにさまざまな流派が伝えられていますが、尾張旭市では、無二流・検藤流・直心我流・東軍流・直師夢想東軍流の 5 流派が伝統を守っています。

問題 15　答えは　②

【解説】「吉賀池湿地」は、尾張旭市の北部に位置しており、東海地方特有の湧水湿地として、シラタマホシクサやミカワシオガマなどの貴重な植物が生育しています。これらの植物は「東海丘陵要素」と呼ばれており、絶滅危惧種も多いことから市の天然記念物に指定されています。昭和 63 年度から調査・管理が行われており、市では、観察のための木道や盗掘防止のための外周フェンスを設置し、湿地植物の保全」に努めています。普段は立ち入ることはできませんが、年に 6 回一般公開を行っており、公開日にはどなたでも自由にご覧いただけます。また、団体見学も随時募集しています。

問題 16　答えは　①

【解説】尾張旭市では「健康は市民すべての共通の願いである」という考えに基づき、平成 16 年に健康都市宣言を行い、人もまちも元気にする「健康都市」の実現に向けて、さまざまな施策に取り組んできました。現在、「健康都市　尾張旭」は本市を象徴するブランドのひとつになり、健康都市のさらなる充実をめざして、意欲的な取り組みを進めています。

問題 17　答えは　①

【解説】毛受勝助家照（めんじょう・かつすけいえてる）は稲葉村（現在の稲葉町など）

出身で、戦国武将の柴田勝家（しばた・かついえ）に仕え、戦功（せんこう）をあげました。稲葉地区に伝わる棒の手「検藤流（けんとうりゅう）」は、彼の子孫が開いたと伝わっています。

問題 18　答えは　②

【解説】尾張旭市では、AED（自動体外式除細動器）が市内すべてのコンビニエンスストアに設置されているほか、一部公共施設に屋外設置されており、いつでも誰でも AED が利用できる環境を整え、救命ボランティアが活躍しています。消防団にも市民が多く参加し、防災活動に取り組んでいます。消防団のほかにも、婦人消防クラブ、少年少女消防団も組織され、防災や応急処置訓練などの活動を通じて命や暮らしを守ることの大切さを学んでいます。

問題 19　答えは　①

【解説】毎年、「おいしい紅茶の店」のリストが更新される 11 月 1 日は、日本紅茶協会が昭和 58 年に定めた「紅茶の日」です。伊勢の国（現在の三重県）の船主、大黒屋光太夫（だいこくや・こうだいゆう）他 2 名は、海難にあってロシアに流れ着き、10 年間滞在せざるを得ませんでしたが、帰国の許可を得るまでの辛苦（しんく）の生活のなかで、ロシアの上流社会に普及しつつあったお茶会に招かれる幸運に恵まれました。1791 年の 11 月には女帝エカテリーナ 2 世にも会い、茶会にも招かれたと考えられています。そこから、大黒屋光太夫が日本人として初めて外国での正式の茶会で紅茶を飲んだ最初の人として、この日が定められました。

問題 20　答えは　③

【解説】尾張旭ブランドの紅茶「Owari Asahi 4tea8」は、尾張旭市用に独自にブレンドした紅茶で、タージリン、アッサム、アールグレイ、ディンブラの 4 種類があります。ちょっとしたお土産（みおやげ）に最適な袋入りと、ギフトに最適な缶入りの計 8 タイプ（2022 年現在は、袋、缶ともにティーバッグタイプのみ）を取り扱っています。

問題 21　答えは　③

【解説】令和元年 6 月 2 日に天皇皇后両陛下が第 70 回全国植樹祭にご臨席されるため、尾張旭市をご訪問されました。愛知県森林公園にて全国植樹祭にご臨席賜り、尾張旭市スカイワードあさひにてご会食されました。現在の天皇陛下が尾張旭市をご訪問されるのははじめてのことで、即位後初の地方訪問となりました。沿道では約 28,000 人の方々が集まり、日の丸の小旗を振るなどして歓迎しました。その際、スカイワードあさひを訪問され、愛知県知事、森和実（もりかずみ）尾張旭市長、若杉たかし尾張旭市議会議長（当時）らと会食され、皇后陛下がディンブラを召し上がられました。

問題 22　答えは　③

【解説】ディンブラは、インドではなくスリランカの産地です。中央山岳地帯の西側に広がる高地で、水色（すいしょく）は明るく鮮やかな紅色（くれないいろ）。マイルドで優雅な香りと適度な渋みを伴うバランスのとれた味わいが特徴です。ちなみに、インドの産地はタージリン、アッサムのほか、ニルギリが有名です。

問題 23　答えは　②

【解説】中国は茶の発祥の地とされ、現在も茶の生産量は国際統計によると 150 万トンを超え、世界一の茶の生産国となっています。このうち紅茶は 7 ~10 万トン程度と推測され、その大半を輸出しています。

問題 24　答えは　①

【解説】中国が原産といわれ、比較的温暖な地域で育てられています。お茶の木は、ツバキ科ツバキ属の常緑樹で、1887 年に現在の学名「カメリア シネンシス」がつけられました。ツバキやサザンカの仲間で、艶（つや）やかな葉、柔らかい花びらと黄色い雄しべ、硬くぷっくり膨んだ実など、にているところが多くあります。中国からヨーロッパにお茶がもたらされたのは 17 世紀。海上貿易でオランダによって、中国から伝えられました。それが 18 世紀のイギリス貴族社会で次第に人気を高めていきました。当時のお茶は緑茶でした。それが紅茶となった経緯については定説はありませんが、中国のウーロン茶系のお茶がヨーロッパ人の人気を呼び、製造業者が買い手の好みに合わせてその発酵（はっこう）を進めているうちに、強く発酵した紅茶が誕生したといわれています。ちなみに、日本が初めて紅茶を輸入したのは、明治 20 年だったそうです。

問題 25　答えは　②

【解説】同じお茶の木の葉からは、作り方の違いにより、「緑茶」、「ウーロン茶」、「紅茶」の 3 種類に作り分けられます。緑茶、ウーロン茶、紅茶の大きな違いは、摘んだ葉を発酵（酸化）させるかどうか。お茶の葉は、摘んだ後に時間が経つとしおれて色が変わったり、花のような香りが漂ったりします。このような状態を発酵といい、十分に発酵させたものが紅茶に、発酵させないで加工したものが緑茶に、その間の状態の茶葉から作られるのがウーロン茶になります。

問題 26　答えは　②

【解説】気分転換を目的に、午前 11 時頃に楽しむお茶のことをイレブンジズといいます。以前は会社などには時間になるとお茶入れをするティーレディーも存在していたといいます。ちなみに、ハイ・ティーは、アフタヌーンよりも遅い時間にとる習慣で、夕食の趣

（おもむき）の強いものとなっています。アーリーティーは、アーリーモーニングティーのことで、朝、ベッドで味わう紅茶のことです。ほかにも、新鮮な果物に卵料理、ハム、ベーコンなどの伝統的な朝食に、たっぷりのミルクティーを飲むことをブレックファーストティー、客を招いたディナーや夕食の後、部屋を変えてくつろぐ紅茶の時間をアフターディナーティーと呼び、今でも残る習慣として生活の一部となっています。

問題 27　答えは　①

【解説】アフタヌーン・ティーは、美味しい紅茶とかわいらしいお菓子を優雅に食べるイギリス人の習慣です。スコーンは、スコットランド発祥の、菓子のような小型のパン。小麦粉・ベーキングパウダー・牛乳・バター・砂糖などをまぜあわせた生地（きじ）を小型の太鼓形などにかたちづくり、オーブンで焼いて作ります。ジャムやクロテッドクリームを添えたスコーンは、イギリスのアフタヌーンティーに欠かせないものとされ、チーズやドライフルーツ、チョコチップなどを混ぜて作るものもあります。

問題 28　答えは　③

【解説】スコーンにクロテッドクリーム、ジャム、そして紅茶を組み合わせたものをクリームティーと呼びます。つまりアフタヌーンティーのようにサンドウィッチやケーキがついていなくて、スコーンだけを相手に紅茶を楽しむということです。それが基本なのですが、お店によっては、少量のサンドウィッチとケーキも入れたセットをクリームティーと呼ぶことがあります。

問題 29　答えは　いずれかひとつ書けていれば正解です。

1　Café boaco　カフェぼあこ
2　朝ごはんカフェ ヨンヒキノネコ
3　ぎゃらりい かふぇ 華野
4　TEAS Liyn - an
5　Patisserie EISENDO
6　カフェ＆パスタ　パパス
7　カフェ あさひ窯ギャラリー
8　インドレストラン パリワール
9　レストラン SKY WORD
10　ぽっと・すー・る・ふー
11　夢乃舎
12　高砂ベルシュ
13　レプレ

【解説】尾張旭市では、紅茶専門に取り扱うお店以外にも、インド料理店やパスタのお店、陶芸教室のあるカフェなど、個人で頑張っている個性的なお店があるのが特徴となっています。

問題 30　答えは　③

【解説】ティーカップです。紅茶は高温のお湯で抽出（ちゅうしゅつ）しないとよい味にはならないため、カップの口径（こうけい）を大きくし、紅茶の液面付近の温度が下がりやすいようにつくられています。また紅茶は、カップに注がれた際の水色（すいしょく）や香りも重要な要素であり、広く浅くすることで水色を見やすくし、香りが立ちやすくなっています。そのため紅茶用のカップは、一般的にコーヒー用のカップよりも扁平（へんぺい）になっていったといわれています。
一方、コーヒーは、紅茶ほど高温の水で抽出しなくても味に変化がないとされるために、紅茶よりは低い温度（飲みやすい温度）で出来上がります。そのためカップの口径を小さくし、コーヒーの液面付近の温度を下がりにくくしてあります。あとはカップの高さを高くすることで容量を増やしたため、コーヒー用のカップは一般的に紅茶用のカップよりも背が高くなっています。